



テレワーク導入において、インフラはなにを選べばよいか？

セキュリティへの不安を最新ITで解消

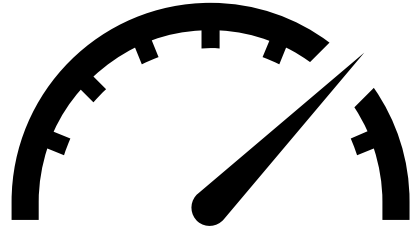
2020年05月27日

JBCC株式会社



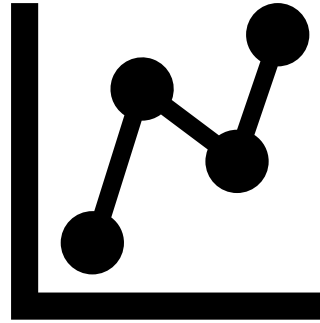
テレワーク導入 インフラ重要な要素

スピード



+

柔軟性



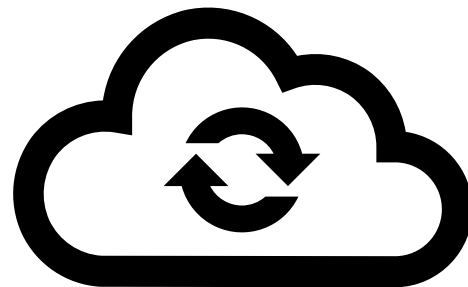
+

セキュア



新型コロナによる緊急事態宣言

従来通り

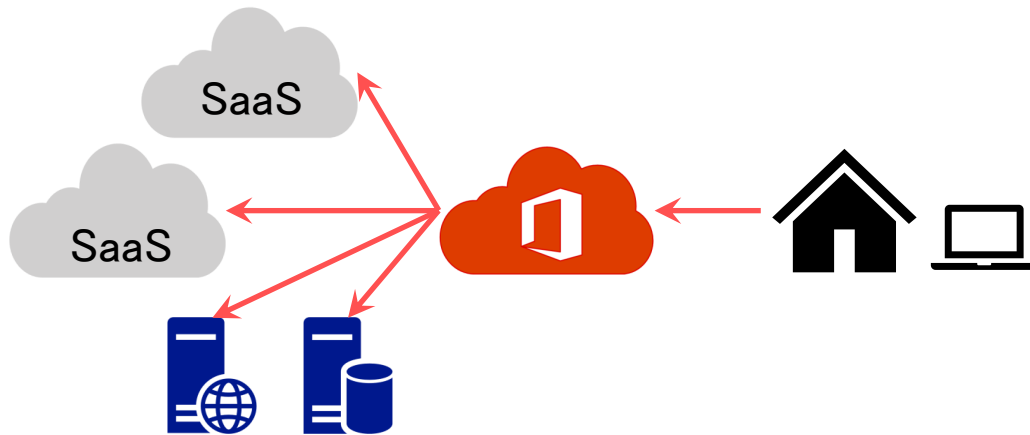


クラウド活用した3つのリモートワークインフラパターン

VPNでリモートワークの実現



Microsoft365フル活用 リモートワークの実現



クラウド型VDI リモートワークの実現



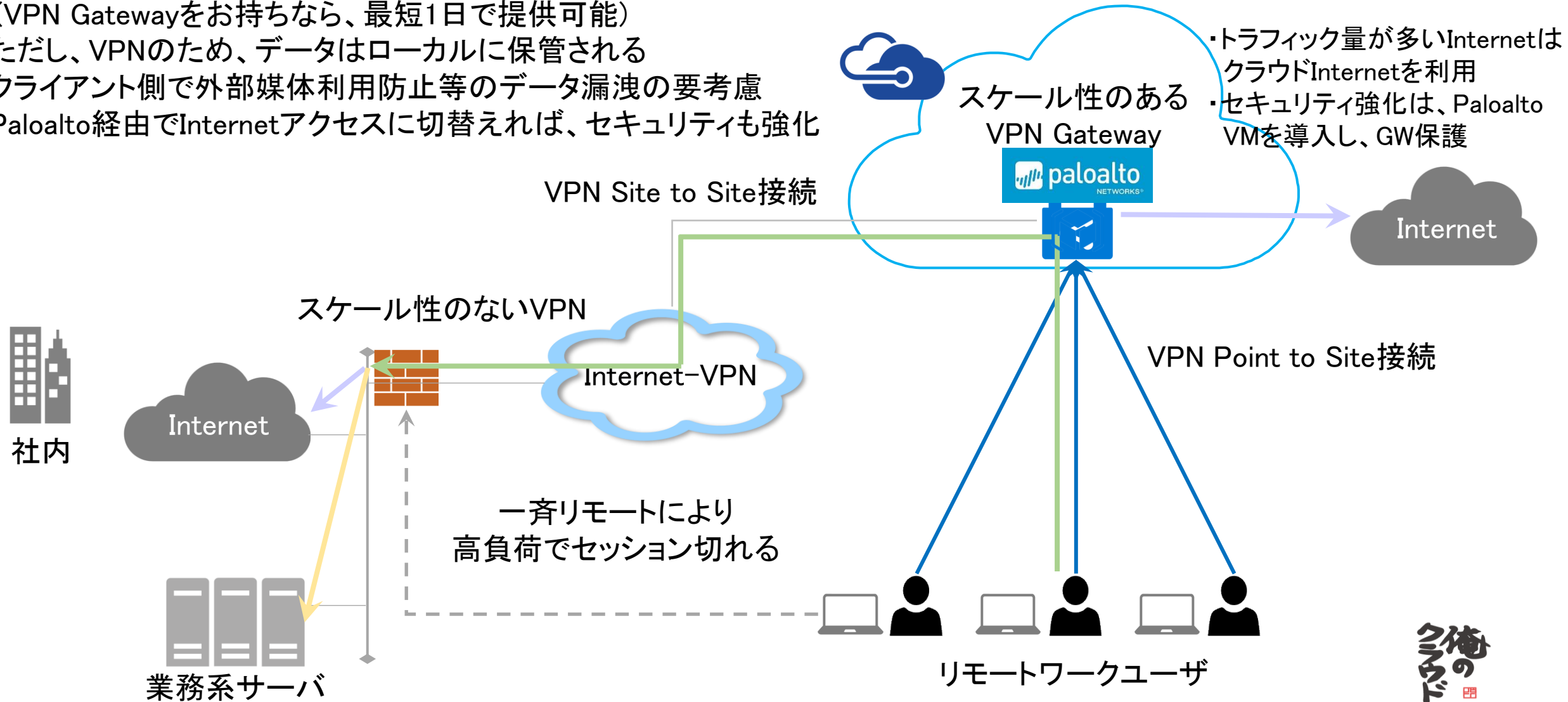
VPNでリモートワークの実現



クラウドVPNを使用したリモートワーク環境を構築する

特徴

- ・3パターンで最も早く、最低限な初期コストで環境整備可
(VPN Gatewayをお持ちなら、最短1日で提供可能)
- ・ただし、VPNのため、データはローカルに保管される
- ・クライアント側で外部媒体利用防止等のデータ漏洩の要考慮
- ・Paloalto経由でInternetアクセスに切替えれば、セキュリティも強化





クラウドVPNコストシミュレーション

VPN Gateway料金



					
	VpnGW1	VpnGW2	VpnGW3	VpnGW4	VpnGW5
	同時250まで	同時500まで	同時1000まで	同時5000まで	同時10000まで
 	¥17,500	¥45,000	¥114,600	¥192,500	¥334,600

+

VPNユーザ接続課金

  ¥450(1ユーザ当たり)(12h/月)
※128名まで無料

Outband通信課金

  ¥1,500(100GB/月)

ケース1: VPN Gatewayを未構成、利用者数100名で通信量は300GB想定の場合

総月額料金 約22,000円

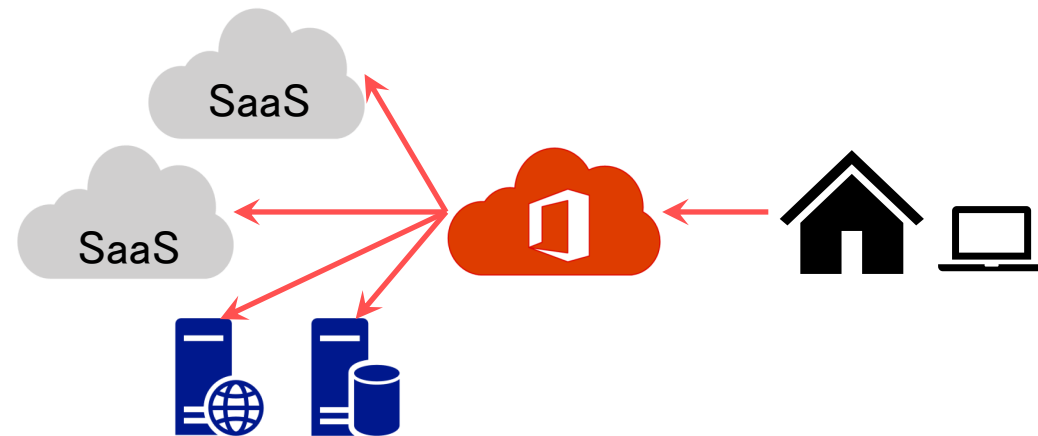
	¥17,500	  ¥0	  ¥4,500
VpnGW1			

ケース2: VPN Gatewayを未構成、利用者数400名で通信量は1200GB想定の場合

総月額料金 約185,400円

	¥45,000	  ¥122,400	  ¥18,000
VpnGW2			

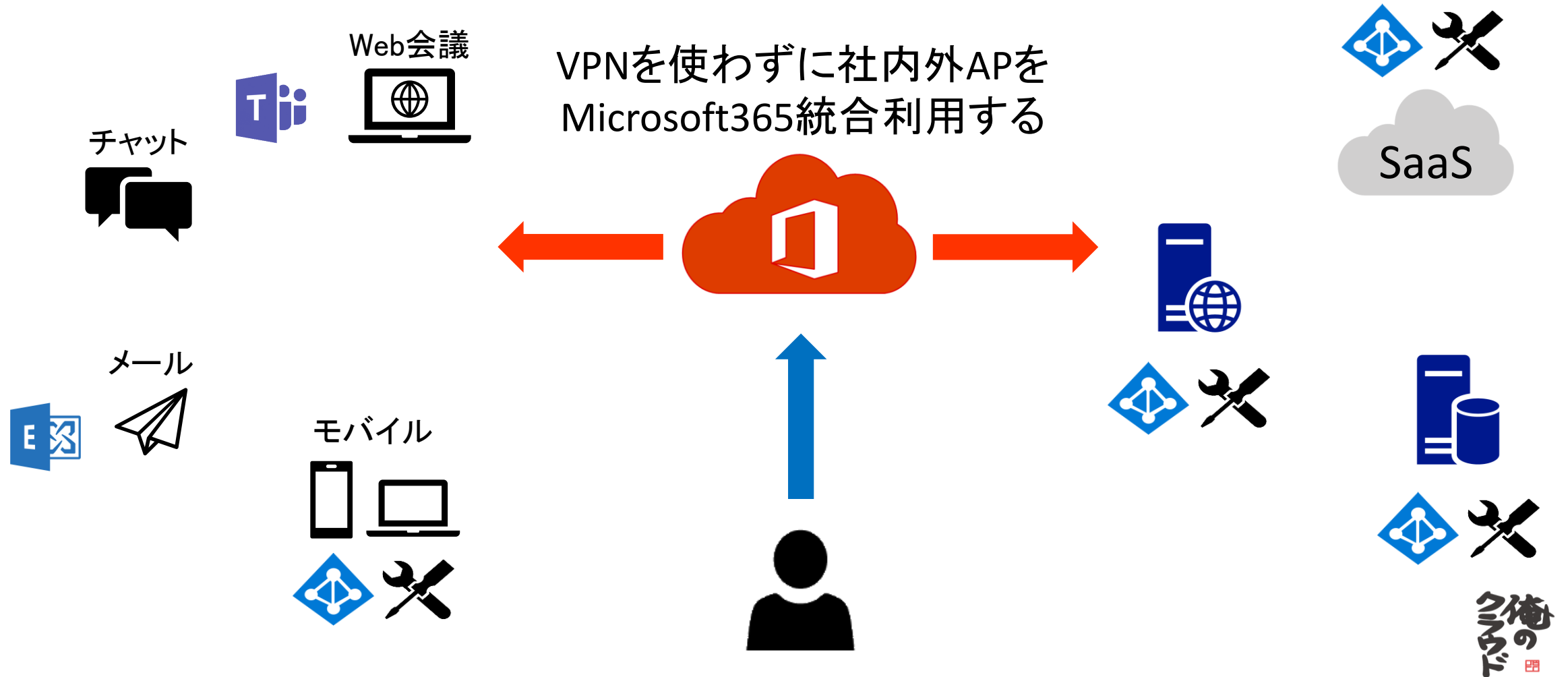
Microsoft365フル活用 リモートワークの実現



社内と社外をシームレスにつなぐ Microsoft 365

コミュニケーションツール
社外 (Internet)

業務アプリケーション
社内 (LAN)



社内/社外をシームレスに ゼロトラストセキュリティ対策 EMS/M365

Microsoft 365

Office 365
Enterprise



Windows 10
Enterprise

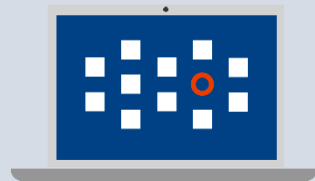


Enterprise Mobility
+ Security (EMS)



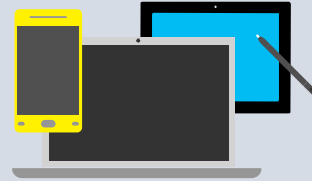
クラウドの ID と
アクセスの管理

Azure Active Directory
Premium



オンプレミスの
ID 保護

Advanced Threat
Analytics (ATA) / Azure
Advanced Threat
Protection (Azure ATP)



デバイスと
アプリの管理

Microsoft
Intune



企業の
ドキュメント保護

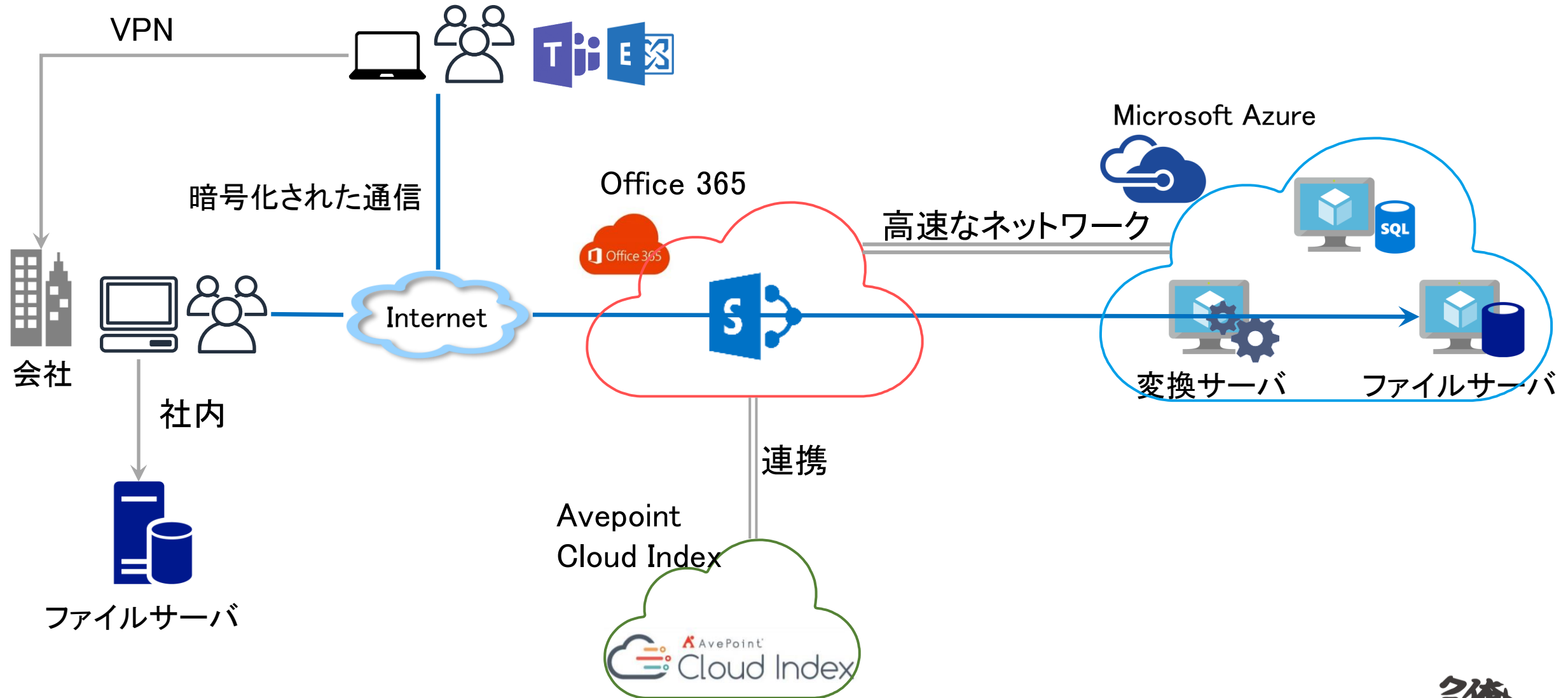
Azure Information
Protection
Premium



クラウド アプリの
セキュリティ

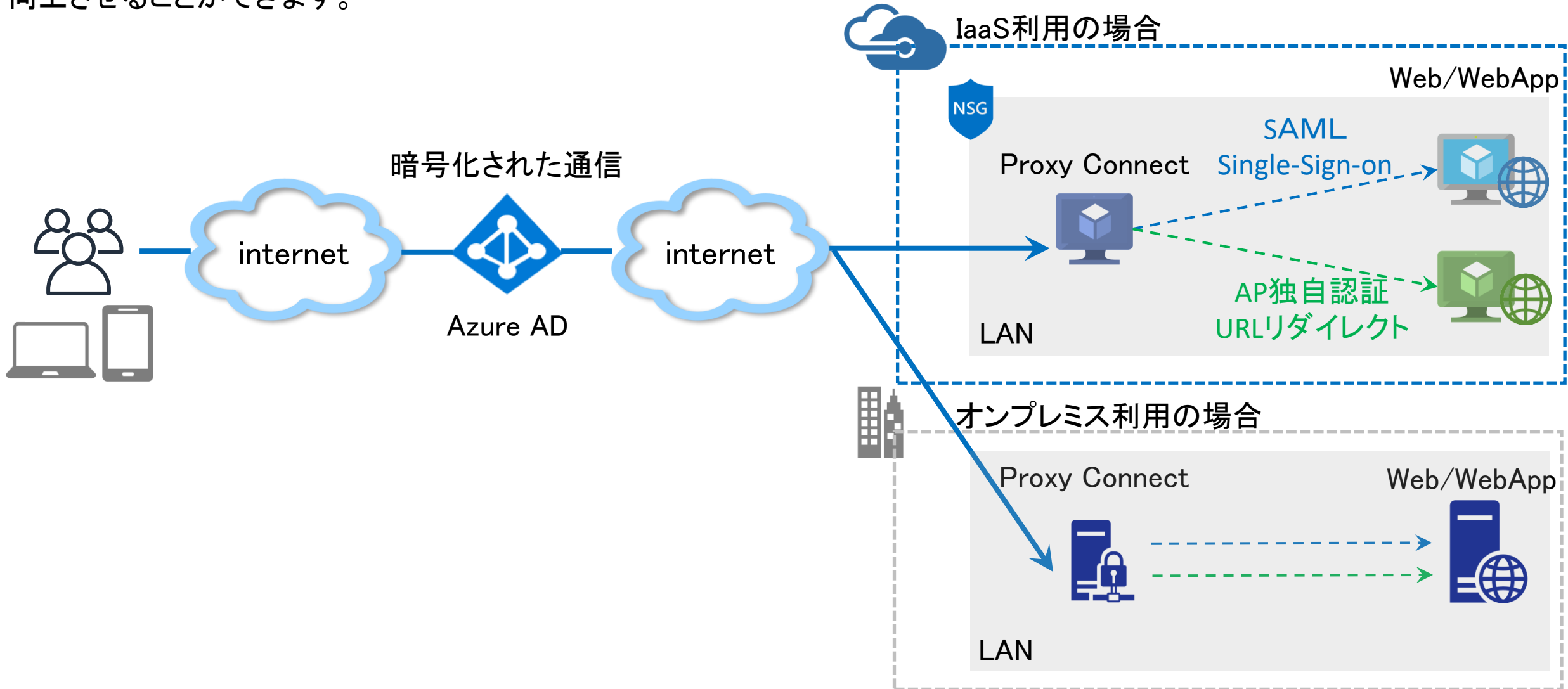
Cloud App Security

ファイルサーバをアクセスをSharePoint Onlineに統合



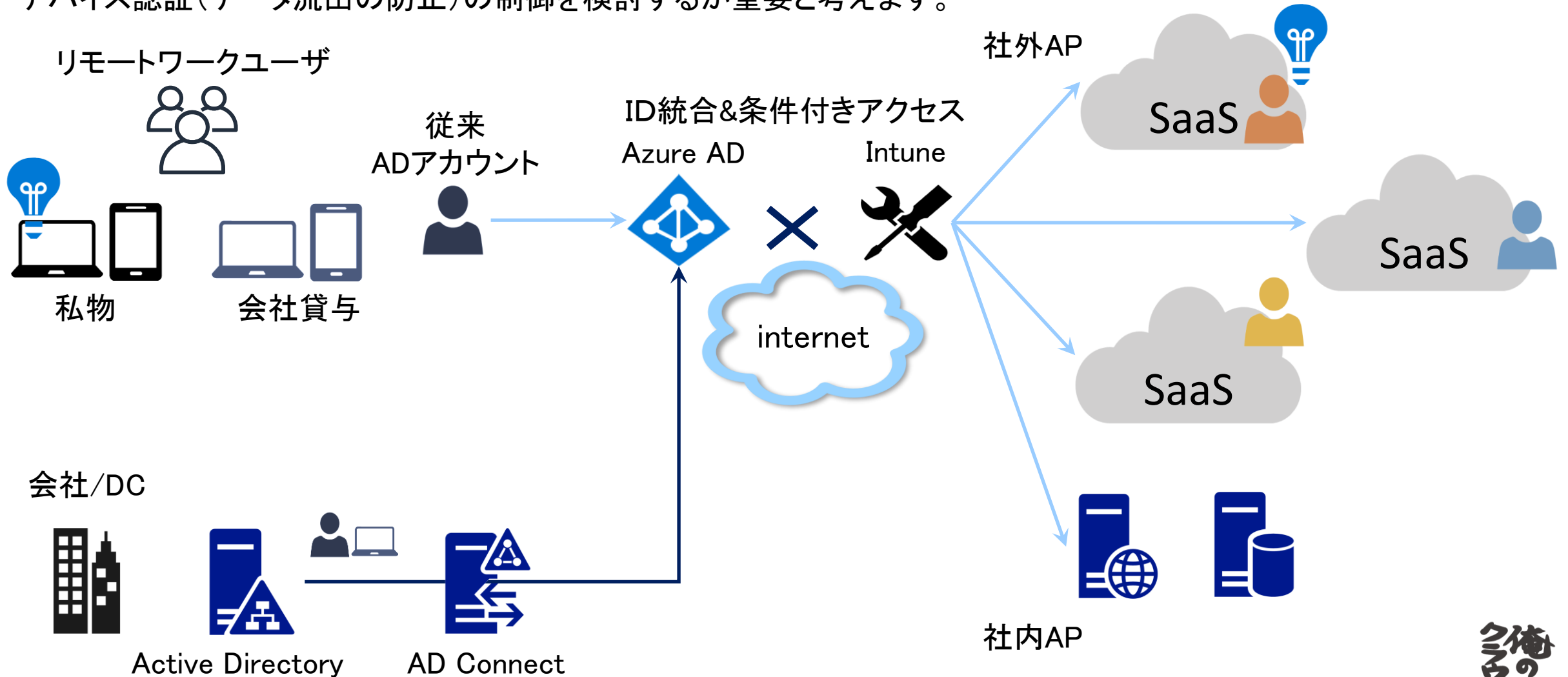
EMSを活用し、社内アプリケーションを安全に社外から利用させる

既存社内WebアプリケーションをDMZ公開せずに、非VPN接続なしで、社外から利用。
DMZ公開しないため、SSL化対応、証明書運用、セキュリティ出入口対策に投資せずに、利用者の利便性を向上させることができます。



EMSを活用し、マルチSaaSサービスを安全に社外から利用させる

SaaSや社内アプリケーションをインターネット経由での利用に変わることより、セキュリティを新たに見直す必要があります。見直しの第一歩として、アカウント統合管理(サイロ化によるアカウント情報流出防止/利便性低下の防止)、デバイス認証(データ流出の防止)の制御を検討することが重要と考えます。



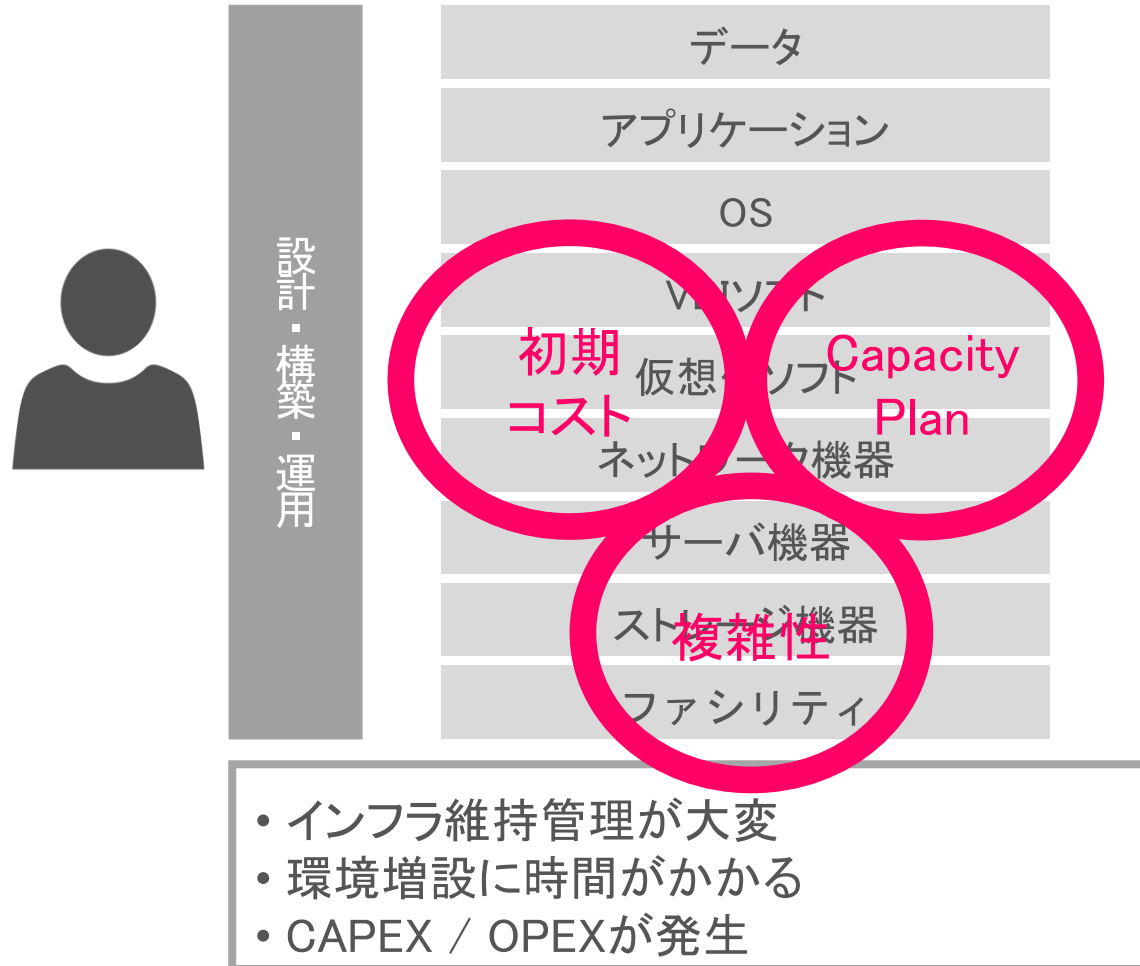
クラウド型VDI リモートワークの実現



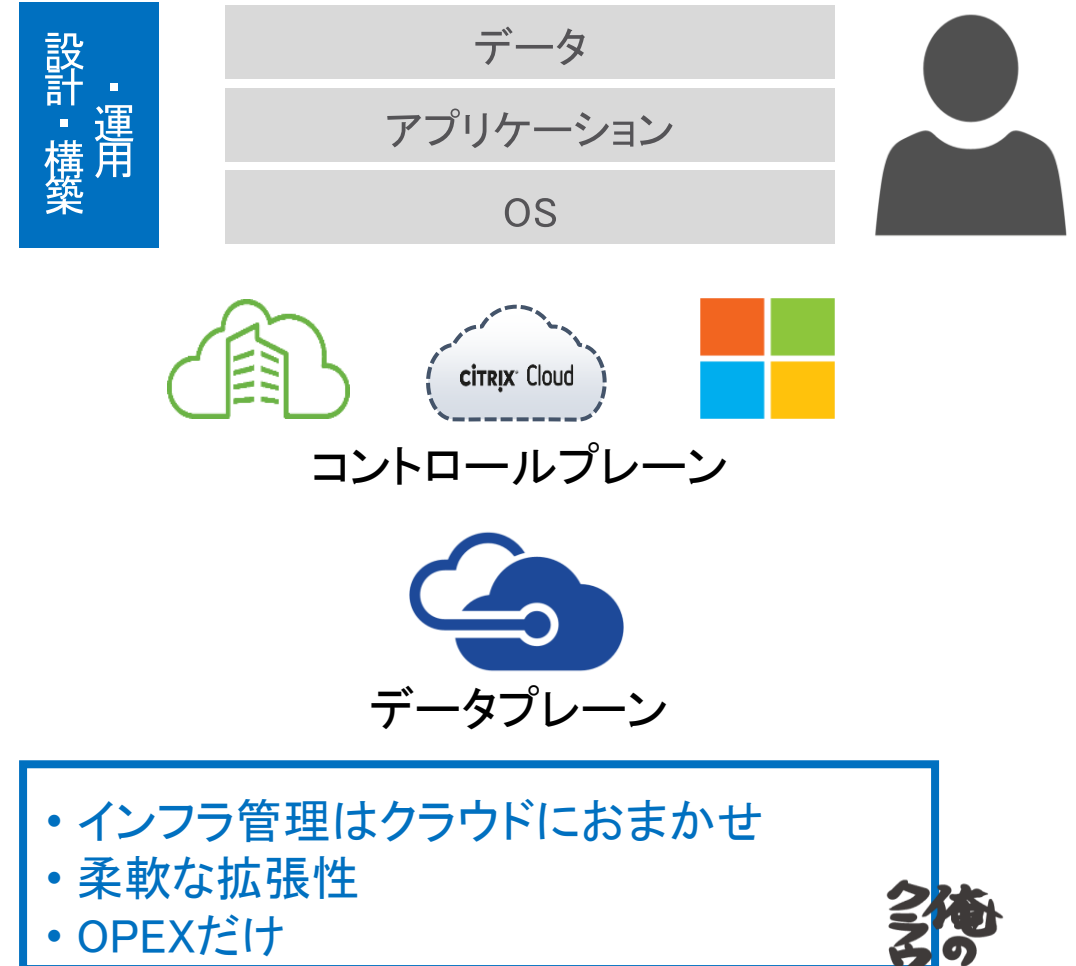
クラウド型VDIアーキテクチャ

VDI管理機能はSaaS化 (VMware/Citrix/Microsoft) VDIデータはIaaS (Azure)

オンプレミス型VDI



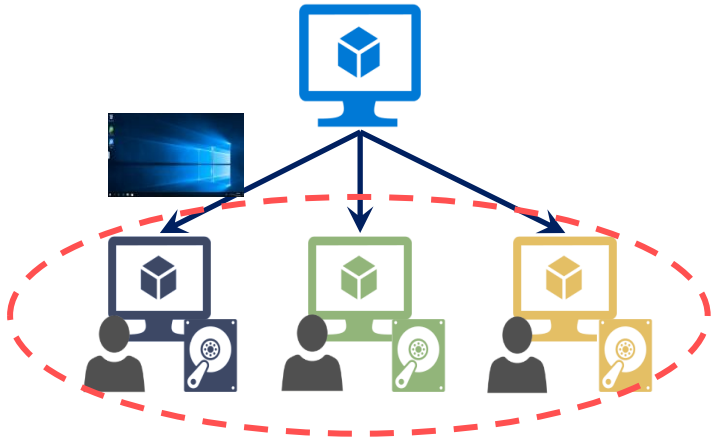
Desktop as a Service



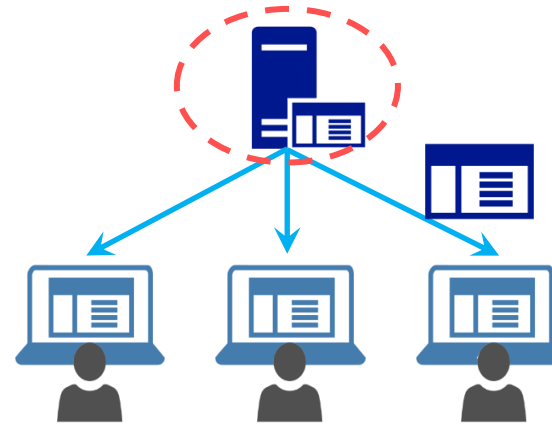
コストインパクトが高い クライアント仮想化方式の適切な選択

いいとこどりは、Windows Virtual Desktop (WVD) Windows10 Multi SessionのHybrid方式

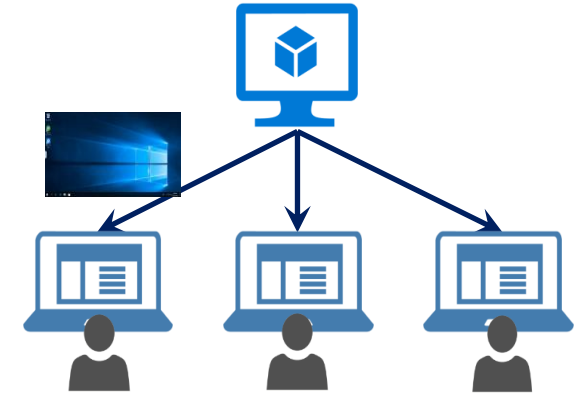
VDI方式



SBC方式



Win10-Multi方式

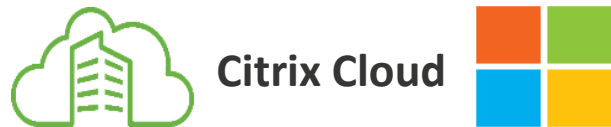


方式 クライアントOSベース仮想化 サーバOSベース仮想化 クライアントOS Multi Session

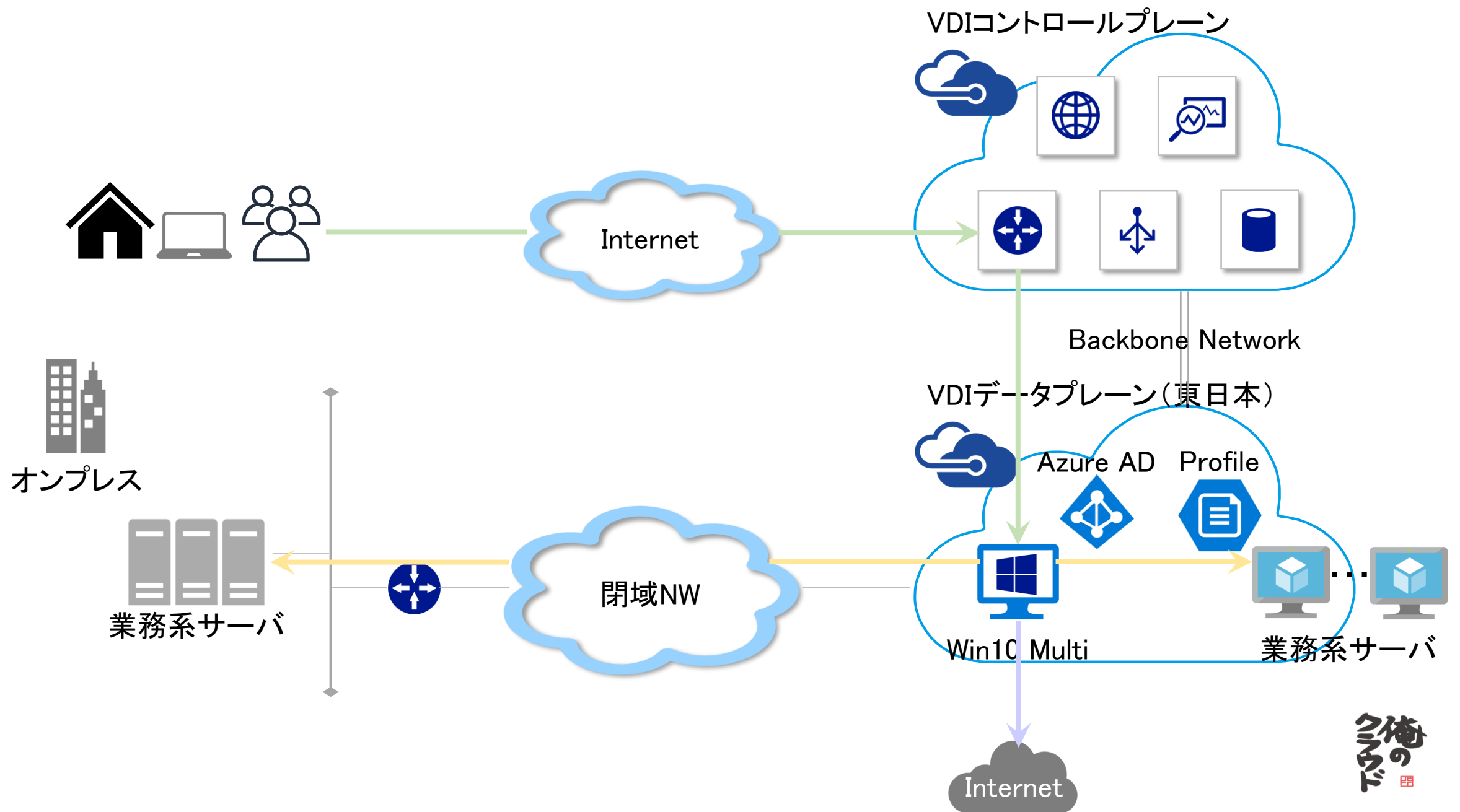
配信 クライアントOS配信 アプリケーション配信
サーバOS配信 アプリケーション配信
クライアント/サーバOS配信

考慮 Windows 10 Enterpriseのみ提供 アプリケーション適合性 2019年10月GA
Server VDIと比較し高価 安価(集約率高) 管理及びアクセスルート

ベンダ

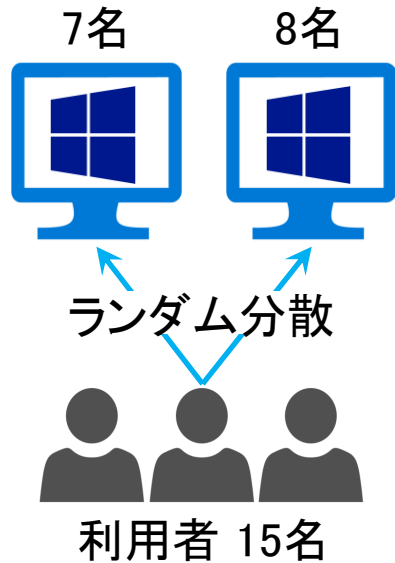


Windows Virtual Desktop構成概要



クラウドVDIコストシミュレーション

見積もりパターン	参考
	1ユーザ月額
Heavyユーザ相当	¥3,983
Powerユーザ相当	¥5,339



Power: 最も要求リソースが多いユーザ。1ユーザ:1vCPUの割当て
Heavy: 2番目にリソース要求が多いユーザ。2ユーザ:1vCPUの割当て
それ以外にMedium、Lightの定義あり。

※1 RI3年での試算金額になります。

WVD PoCのご紹介 -10万で最短1ヶ月でPoCができる-

JBCC Windows Virtual Desktop PoC支援サービス

他社にはない!
ボトルネック分析付き

20名ユーザー
10万円

通常のPoC環境ご提供だけでなく、
VDIで重要となる**性能面を可視化**し、ボトルネック解決策
もご提示する**利用者視点のPoCサービス**です。

【こんなお客様にオススメ】

- WVDを検証したいが、設計・構築ポイントがわからない
- WVDの運用考慮点をHorizonやCitrixと比較しながら、検証したい
- ただ触ってみるではなく、性能も含めた実用検証がしたい

1.WVD PoC環境構築を無償でご提供

Azure環境をお持ちでないお客様には、Azure環境の調達から無償でご支援させていただきます。WVD環境のご提供だけでなく、WVDの特徴であるFSLogixの導入支援やお客様既存システム（Active Directoryやネットワーク等）も考慮したデザインにて、PoC環境をご提供させていただきます。

2.お客様環境に特化したボトルネック分析のご提供

VDIのみならず、Windows10やお客様アプリケーション、ネットワーク環境等見えづらい問題に関しても、可視化し、課題を明確したうえで、適切な対応方法をご提示致します。

3.ベストプラクティス設計をご提供

PoCを通して、運用や使い勝手をご検証いただいた後、PoCレポートとして、何がお客様にとってベストプラクティスか、実用性を踏まえ、幅広くデザインさせていただきます。また、スモールスタート、課題解決を踏まえた全体ロードマップもご提示させていただくことも可能です。

お申込み <http://www.jbcc.co.jp/r/1912-1>



お問合せはこちら J B C C株式会社 PFS事業部 E-mail: mktg@jbcc.co.jp

作業項目	担当(主:○ 支援:△)		2020年x月			
	貴社	JBCC	1W	2W	3W	4W
事前準備						
Azureテナント開設手続き	△	○	▶			
Azure及びWVD簡易設計	△	○	▶			
Azureテナント作成	△	○	▶			
WVD PoC用VPN設定	○	△	▶			
構築フェーズ						
Azureネットワーク作成	△	○		▶		
社内Routing変更	○	△		▶		
リモートサポート環境整備 (Bastion)	△	○		▶		
WVDテナント作成	△	○		▶		
マスタイメージ Win10初期セットアップ	△	○		▶		
マスタイメージ Application導入	○	△			▶	
マスタイメージ OSカスタマイズ設定	○	△			▶	
WVDホストプール作成	△	○				▶
Azure Files & FsLogix導入設定	△	○				▶
PoCフェーズ						
導入Application製品動作検証	○	△				▶
印刷動作確認	○	△				▶
接続元デバイス動作確認	○	△				▶

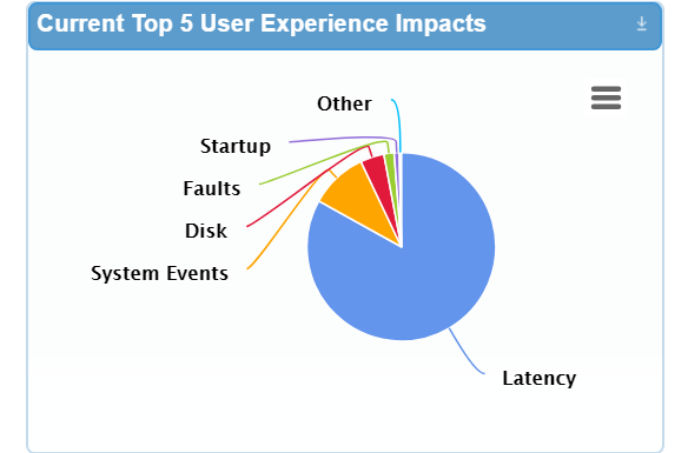
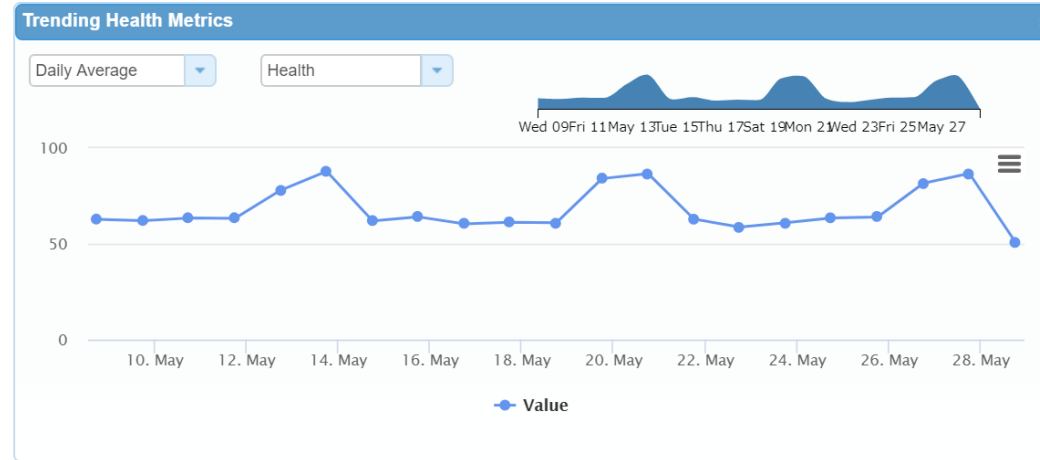


JBCCだけ PoC期間にアセスメントし、ボトルネックを把握を無償提供

ユーザエクスペリエンススコア

スコア(30日分)

67.73



Systrackの管理画面より

いつ遅かったのか、頻度はどれくらいあるのか、一人だけ遅かったのか、**原因を明確にドリルダウン分析**



Win10集約率の最適解を提示
安心して全社展開でリモートワーク展開可能



まとめ

【テレワーク導入の最優先事項は導入スピードというお客様】

- **最もスピーディ**にリモートワーク環境を整備するなら**クラウドVPN**環境を選択
- クラウドVPNでセキュリティ強化するのであれば、**Paloalto VMをクラウドに構成**

【将来働き方をリモートワーク中心とし、高セキュリティで検討したいお客様】

- **データ漏洩対策**や**将来を見越した**テレワークを意識するなら、**クラウドVDI**を選択
- クラウドVDIは**従来と比べ安価及びスピーディ**に導入が可能

【SaaSアプリケーションを中心にリモートワークを促進されていきたいお客様】

- **SaaSアプリケーション**が多く、Microsoft365は**既にOffice365をご利用**されている場合は、**Microsoft365**によるセキュアリモートワークを検討。

ただし、社内アプリケーションやファイルサーバ等の社内リソースと連携して利用する場合には、既存環境の精査が必要